

【2020年度 京丹ブロック共同宣教司牧 長期・中期・短期計画】

京都司教区 京都南部地区京丹ブロック

1. 長期計画（2013年度作成）

地域に対して福音宣教をおこなって行く教会共同体となっていきたいと思います。

2013年度に制定された長期計画は、以下の二項目をこの地域の教会共同体の歩むべき方向性を示すものとして立案されています。 ①「信仰養成の観点から」 ②「小教区適正配置の観点から」

本年度も引き続きこの長期計画を念頭に置きながら、京丹ブロックの教会共同体は、福音宣教者の集まりとして存在します。

その実行計画として、今年度におこなう短期計画を新たに制定します。

以下に示すブロック基本方針に基づき、各小教区で具体的な活動計画を策定し実行していく。

2. 中期計画（2017年度作成）

- ・長期計画の8年目に当たり、ブロック内各小教区のビジョンを持ち寄り、後半へ向けたプロジェクトチーム(仮称)を作るなどして、短期計画の実行計画、具体的行動、評価反省、それに基づく更なる行動に繋げてブロックの動きを確認し、取り組みを継続・発展させていきます。

3. 2020年短期計画

（1）司教年頭書簡「すべてのいのちを守るため」に応じた活動

- ・地球環境と次世代への責任
- ・エコロジカルな回心
- ・日本の教会の使命「日本で生きるすべての人々のあり方、いのちに関わる現代の複雑な諸問題への取り組みに福音的な光を投げかけること」

（2）教皇フランシスコの考えの基本「あらゆるものはつながっている」という視点

- ・貧しい人のいのち、他の宗教の人、他の国の人、他の民族の人と全部つながっている。
- ・病者、高齢者、子どもたちともつながっている。

（3）展開計画：以下の①、②、③項目に取り組む

備考1. 各小教区独自の計画を優先する。

2. 評価確認を容易にするため、定量評価が可能となるよう、具体的な取り組みの設定に工夫する。

① 貧しい人・弱者・病者に寄りそい、かけがえのない「いのち」を賜物として守る

- ・教会に来る信徒（外国人、日本人）および信徒を問わないすべての人びとに関心を持ち、共同体とともに築く信仰の仲間として、積極的に対話し、交流します。そのために、定期的にともに過ごす機会をつくる

② 子どもたち及び青少年の育成支援を強化

- ・ブロックで行われる子どもたちを中心とした遠足などの催しを支援するために、祈り、ともに参加し、経済的な援助を行います。
- ・教会に来る子どもたちのために日曜学校を実施します。必要に応じて共同開催も実施します。
- ・共同体の一員である青年との交流を深めるために、挨拶、対話を通して積極的に交流し、青年がゆえの不完全さも含め互いに認め合い、チャレンジできる場をつくり、世代を超えてともに活動します。

③ 社会に奉仕する教会共同体

- ・自国第一主義が蔓延して、政治・経済・宗教にみられる傾向に対して、福音に根差し平和を求める活動に積極的に支援・参加交流を図り、世界平和への祈りを行います。
- ・従来からの諸活動への支援について、更に理解を深め交流していく機会を持ちます。
- ・開かれた教会作りを実践するため、教会聖堂の開放や地域の人びとと連携しながら取り組みなどによって交流を

以上